

平成23年度

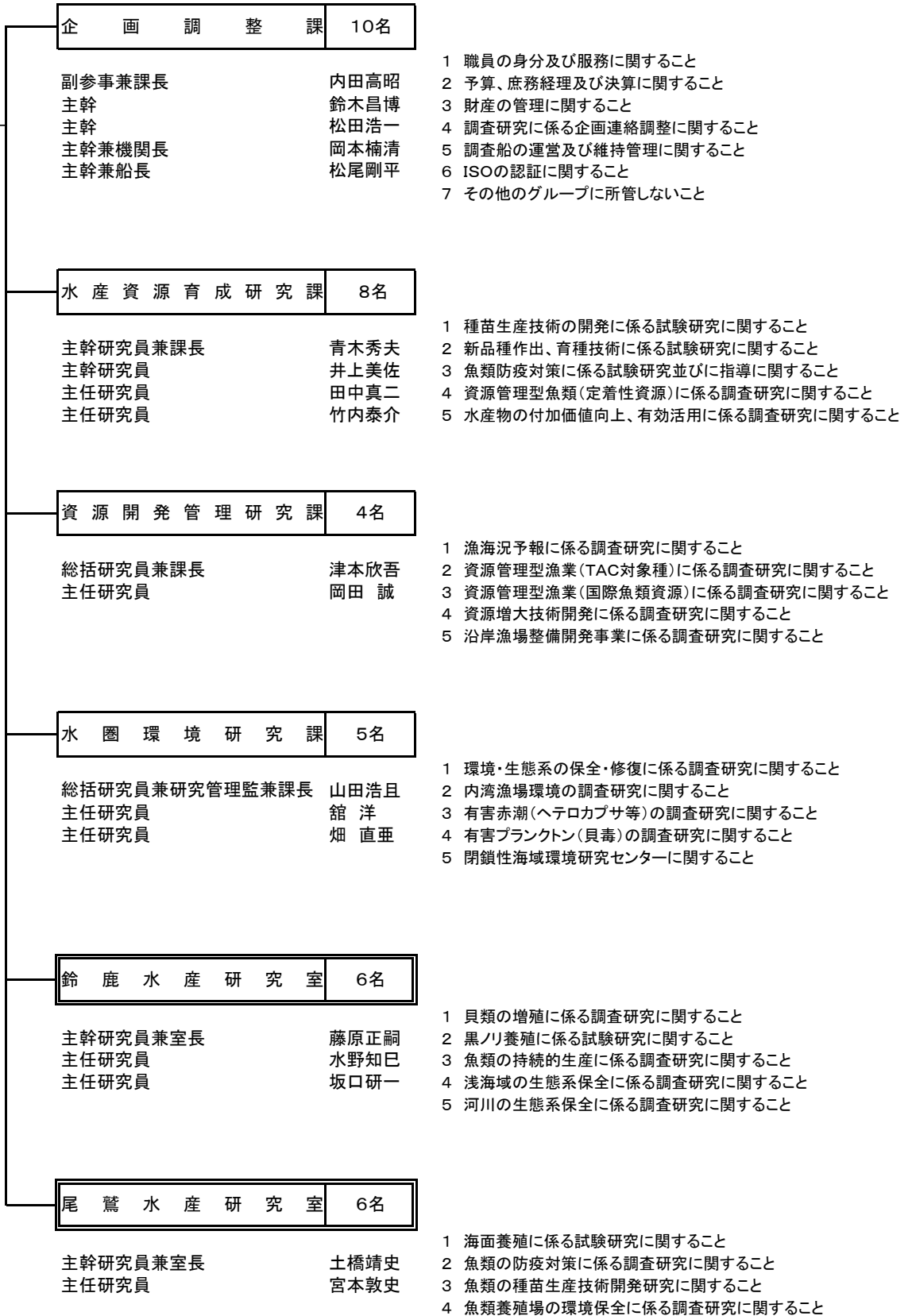
組織・人員配置等  
事業概要

三重県水産研究所

# 平成23年度 水産研究所事務分掌

水産研究所  
現在員 40名

所長 紀平正人



# 予算総括

平成23年度当初予算ベース (千円)

	担当研究課(室)	期間	事業費
			総計215,080+α
<b>I 水産研究所予算</b>			
<b>施策 225 水産物を安定的に供給できる水産業の実現</b>			
<b>基本事業 22504 水産業を支える技術開発の推進</b>			
(1) 養殖漁業の振興に貢献する技術開発			
① 魚類養殖試験	尾鷲水産	H21～23	1,896
② 新しい真珠養殖技術実証化事業	水産資源育成	H22～23	2,200
(2) 水産資源の管理・増殖に関する技術開発			
① イセエビ種苗生産の安定性向上に関する研究	水産資源育成	H23～25	2,302
② 標識アワビ種苗を用いた放流効果評価手法開発事業	水産資源育成	H21～23	1,209
③ 栽培漁業技術総合開発研究事業	資源開発管理	H20～24	616
④ 資源評価調査事業	資源開発管理	H12～	16,887
⑤ 資源管理に必要な情報提供事業	資源開発管理	H15～	918
⑥ 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業	資源開発管理	H13～	1,495
⑦ アサリ資源回復促進技術開発事業	鈴鹿水産	H22～24	1,904
(3) 環境保全に向けた技術開発			
① 英虞湾漁場環境調査	水圏環境	H20～24	2,124
② 熊野灘沿岸における有害プランクトン優占化機構に関する研究	水圏環境	H20～	1,084
③ 生物多様性・カーボンオフセットプログラム構築に向けた干潟・藻場再生効果の評価	水圏環境	H23～26	2,400
④ アユの減少要因の解明に関する研究	鈴鹿水産	H20～24	880
⑤ 河川における魚類の多様性保全に関する研究	鈴鹿水産	H23～26	760
(4) 水産物の付加価値向上、有効活用			
① 水産技術クラスター構築による水産物高付加価値化促進事業【重点事業】	水産資源育成 尾鷲水産	H23～26	6,000
(5) 緊急雇用創出関係			
① 魚類養殖漁場環境調査緊急雇用創出事業	尾鷲水産	H23	1,072
② 魚病診断カード等の電子カルテ作成緊急雇用創出事業	尾鷲水産	H21～23	1,159
③ 白色系アコヤガイ交配試験緊急雇用創出事業	水産資源育成	H22～23	7,971
(6) 研究所における施設整備など			
① 水産業試験研究管理費	企画調整		48,825
② 水産業研究施設機器整備費	企画調整		63,175
<b>II 農水商工部 水産資源室・水産基盤室予算</b>			
<b>基本事業 22501 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保</b>			
(1) 持続的な水産物供給体制構築事業【重点事業】			
① 生産者による自主管理型の貝毒モニタリング体制の構築	水圏環境	H23～26	3,000
② 里海を創出する環境対応型黒ノリ養殖技術開発	鈴鹿水産	H23～26	2,000
③ アオノリ・ヒジキの養殖技術の高度化技術開発	水産資源育成	H23～26	900
(2) 東紀州地域の水産業活性化総合対策事業【重点事業】			
① 魚類養殖の新魚種導入事業	尾鷲水産	H23～26	1,000
② マハタの産地間競争力向上事業	尾鷲水産	H23～26	5,000
(3) その他			
① 養殖衛生管理体制整備事業	水産資源育成 尾鷲水産 鈴鹿水産	H15～	478
② 貝毒成分モニタリング調査	水圏環境	H7～	90
③ 地域水産資源等実態把握調査【重点事業】	資源開発管理	H23～26	2,000の一部
			計19,692+α

	担当研究課(室)	期間	事業費
<b>基本事業 22503 水産生産基盤の整備</b>			
(1) 熊野灘海域浮魚礁設置事業費			
① 熊野灘浮魚礁技術活用モデル事業	資源開発管理	H19～23	4,500
(2) 水産基盤整備調査費補助			
① マダイ生態調査	資源開発管理	H22～	2,724
② アオリイカ生態調査	資源開発管理 尾鷲水産	H22～	1,700の一部
<b>Ⅱ 農水商工部 科学技術・地域資源室 予算</b>			
<b>施策 5 1 3 科学技術交流の推進</b>			
<b>基本事業 5 1 3 0 1 研究交流の推進</b>			
			計30,511
① 室内培養実験による赤ぐされ病耐性評価手法の開発 【水産総合研究センター委託】	鈴鹿水産	H19～23	1,500
② 黒ノリの温暖化適応技術開発事業 【水産総合研究センター委託】	鈴鹿水産	H23～25	1,000
③ スーパーアコヤ貝の品質特性の把握と挿核貝の陸上低塩分養生技術の効率化 【農林水産省委託】	水産資源育成	H22～24	18,215
④ 遺伝子標識を用いた効果判定による放流技術の最適化（クルマエビ・ヨシエビ） 【農林水産省委託】	鈴鹿水産	H22	1,796
④ 英真湾の環境再生へ向けた住民参加型の干潟再生体制の構築（実装支援事業） 【JST委託】	水圏環境	H21～24	6,500
⑤ 漁場生産力の有効活用によるアサリ母貝場造成および新規創出技術開発 【水産総合研究センター委託】	鈴鹿水産	H22～24	1,000
⑥ マダイ養殖における飼料コスト削減技術の開発 【岡三加藤文化振興財団助成】	尾鷲水産	H23	500

## 事業概要

事業名	予算額 (千円)	事業概要
<b>1. 水産研究所予算</b>		
<b>22504 水産業を支える技術開発の推進</b>		
<b>1) 養殖漁業の振興に貢献する技術開発</b>		
① 魚類養殖試験	1,896	養殖マダイのエドワジエラ症感染リスクの低減を図るため、予防効果が期待される物質の有効性を検討し、有効性が確認された物質について用法用量を確立する。【県単】
② 新しい真珠養殖実証化事業費	2,200	アコヤガイのピース貝の改良と効率的な維持に関する技術開発を実施する。【県単】
<b>2) 水産資源の管理・増殖に関する技術開発</b>		
① イセエビ種苗生産の安定性向上に関する研究	2,302	イセエビ幼生の飼育システムの改良、新しい疾病防止技術の導入によって幼生飼育の安定性の向上を目指す。【県単】
② 標識アワビ種苗を用いた放流効果評価手法開発事業	1,209	放流直後のアワビ種苗の動態を明らかにするための新しい技術としてアバロン・タグの有効的な活用法を開発するとともに、その技術を用いて種苗の生残率を高めるための条件を解明し、アワビ種苗の放流効果の向上を目指す。【県単】
③ 栽培漁業技術総合開発研究事業	616	トラフグ、クルマエビを対象に生態的知見を収集するとともに、放流後の追跡調査や放流適地の探索を行い、栽培漁業技術の総合的な向上を図る。【県単】
④ 資源評価調査事業費	16,887	漁獲統計資料の解析、生物測定調査や調査船調査の結果に基づき、イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・スルメイカ・トラフグ等の資源量の評価を行い、漁獲可能量(漁獲割当量)を算出するための基礎資料を収集する。【水研センター委託】
⑤ 資源管理に必要な情報の提供事業費	918	本県沿岸の漁況及び海況を定期的に調査し、その情報を関係機関に迅速に伝達することで、資源管理の推進を図る。【交付金】
⑥ 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費	1,495	マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類について、国際的な資源管理体制の確立が必要となっている。そのため、国を中心とした全国組織のもとに、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う。【水研センター委託】
⑦ アサリ資源回復促進技術開発事業	1,904	殻長制限を変更した場合のアサリ資源量に及ぼす影響を調査するとともに、海底耕耘などの漁場環境改善によるアサリ稚貝の着底効果を調査する。【県単】
<b>3) 環境・生態系の保全に向けた技術開発</b>		
① 英虞湾漁場環境調査	2,124	英虞湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、英虞湾プランクトン速報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を把握する。【県単、一部はその他】
② 熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究費	1,084	熊野灘沿岸域における有害プランクトンの長期的な変遷と発生環境を把握すると共に、有害赤潮のシード供給メカニズムを解明し、有害赤潮による漁業被害の防止に資する。【水産庁委託】
③ 生物多様性・カーボンオフセットプログラム構築に向けた干潟・藻場再生効果の評価	2,400	干潟や藻場の再生等に企業が参加・支援しやすくするためのカーボンオフセット制度の導入に向けて、干潟やアマモ場のもつ水質浄化機能やCO <sub>2</sub> 固定量を定量評価する。【県単】
④ アユの減少要因の解明に関する研究	880	放流後のアユの減耗状況を定量的に評価し、減少要因を究明するとともに、その軽減策を検討する。【県単】
⑤ 河川における魚類の多様性保全に関する研究	760	県内の河川において希少生物を含む淡水魚の分布調査を実施し、河川の生態系や環境の保全のための知見を収集する。【県単】
<b>4) 安全・安心な水産物の提供、水産物の付加価値向上</b>		
① 水産技術クラスター構築による水産物高付加価値化促進事業【重点事業】	6,000	漁業、水産業の収益性の向上のために、産学官で水産技術クラスターを構築し、連携して水産業に関係する新しい技術の導入や水産資源の有効活用、付加価値向上に向けた取組を行う。【県単】
<b>5) 緊急雇用創出関係</b>		
① 魚類養殖漁場環境調査緊急雇用創出事業	1,072	魚類養殖場の環境と利用実態を調査し、漁場の適正な利用方法を提案する。
② 魚病診断カード等の電子カルテ作成緊急雇用創出事業	1,159	養殖魚の魚病診断の効率化を図るため、現在、紙ベースで保存している魚病診断カードや漁場環境データ等の情報を一元化した電子カルテを作成する。
③ 白色系アコヤガイ交配試験緊急雇用創出事業	7,971	白色系アコヤガイの真珠層分泌に及ぼす系統の影響を調査するための交配試験と飼育管理を行い、真珠品質の変動原因を明らかにする。

## 事業概要

事業名	予算額	事業概要																														
6) 研究管理、施設整備など		【調査船】																														
(1) 水産業試験研究管理費																																
① 熊野灘沖合地殻変動調査事業	5,000	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目 船名</th> <th style="width: 10%;">船質</th> <th style="width: 10%;">トン数</th> <th style="width: 10%;">馬力数</th> <th style="width: 10%;">進水年月</th> <th style="width: 10%;">用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あさ よ</td> <td>軽合金</td> <td>79.0</td> <td>D 400</td> <td>H14. 3</td> <td>調査研究</td> </tr> <tr> <td>小大勢</td> <td>F. R. P</td> <td>1.1</td> <td>D 42</td> <td>H 4. 8</td> <td>調査研究</td> </tr> <tr> <td>まつかぜ</td> <td>〃</td> <td>1.3</td> <td>外 30</td> <td>H11. 3</td> <td>養殖作業 湾内観測</td> </tr> <tr> <td>灘 風</td> <td>〃</td> <td>1.5</td> <td>D 35</td> <td>H14. 3</td> <td>湾内観測 養殖作業</td> </tr> </tbody> </table>	項目 船名	船質	トン数	馬力数	進水年月	用途	あさ よ	軽合金	79.0	D 400	H14. 3	調査研究	小大勢	F. R. P	1.1	D 42	H 4. 8	調査研究	まつかぜ	〃	1.3	外 30	H11. 3	養殖作業 湾内観測	灘 風	〃	1.5	D 35	H14. 3	湾内観測 養殖作業
項目 船名	船質		トン数	馬力数	進水年月	用途																										
あさ よ	軽合金		79.0	D 400	H14. 3	調査研究																										
小大勢	F. R. P		1.1	D 42	H 4. 8	調査研究																										
まつかぜ	〃		1.3	外 30	H11. 3	養殖作業 湾内観測																										
灘 風	〃	1.5	D 35	H14. 3	湾内観測 養殖作業																											
② 管理費	43,025																															
③ アサリ未利用稚貝の有効活用技術開発事業	800																															
(2) 水産業研究施設機器整備費	63,175	研究施設の整備、備品の購入や修繕などを行う。																														
<b>2. 水産資源室、水産基盤室予算</b>																																
<b>22501 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保</b>																																
1) 持続的な水産物供給体制構築事業【重点事業】																																
① 生産者による自主管理型の貝毒モニタリング体制の構築	3,000	マウス検査に代わる簡易な毒性検査法の導入や、原因プランクトン密度による二枚貝の毒化予測技術の導入等を生産者と連携して実施する。【県単】																														
② 里海を創出する環境対応型黒ノリ養殖技術開発	2,000	環境変化に対応する新しい品種や高品質化技術の開発を行うとともに、得られた成果を生産者との連携によって普及させる。【県単】																														
③ アオノリ・ヒジキの養殖技術の高度化技術開発	900	採苗技術の改良や、生産物の高品質化のための新しい養殖技術の開発を実施し、藻類養殖の安定化を目指す。【県単】																														
2) 東紀州地域の水産業活性化総合対策事業【重点事業】																																
① 魚類養殖の新魚種導入事業【重点事業】	1,000	成長が良く販売単価も高いハギ類等を対象として、効率的な養殖条件を把握するとともに、非破壊による身質や肝臓の品質評価法を開発する。【県単】																														
② マハタの産地間競争力向上事業【重点事業】	5,000	マハタ養殖技術の開発で残されている課題を解決し、東紀州地域の魚類養殖にマハタを定着させる。【県単】 ①種苗の形態異常の低減 ②養殖マハタの身質の特性把握と向上のための養殖条件の検討																														
3) その他																																
① 養殖衛生管理体制整備事業	478	養殖技術講習会の開催、養殖現場の巡回指導、魚病診断等を行い、飼育管理技術の改善と水産用医薬品の適正使用について指導し、養殖衛生管理体制の整備を図る。																														
② 貝毒成分モニタリング調査	90	二枚貝の毒化状況と貝毒プランクトンの出現量をモニタリングし、出荷自主規制等の措置を講ずることによって貝毒被害を防止する。																														
③ 地域水産資源等実態把握調査【重点事業】	2,000の一部	自律的な資源管理など地域が取り組む資源管理型漁業の推進のために必要な地域の水産資源動向等の調査を実施する。																														
<b>22503 水産生産基盤の整備</b>																																
① 熊野灘浮魚礁技術活用モデル事業	4,500	浮魚礁設置海域周辺の表～底層の流向流速、魚群の蟄集状況、魚礁の利用実態等を調査し、浮魚礁の効果的な設置・運用方法を検討するための基礎資料を得る。																														
② 水産基盤整備調査費補助対象魚種生態調査	4,424の一部	広域漁場整備事業などが実施される海域で対象魚種（マダイとアオリイカ）の生物学的特性を調査する。																														
<b>3. 科学技術・地域資源室予算</b>																																
<b>51301 科学技術交流の推進</b>																																
① 室内培養実験によるあかぐされ病耐性評価法の開発	1,500	黒ノリ養殖で問題となっている赤ぐされ病に対する耐病性に優れた品種を開発するため、品種間における耐病性の差異を検出、評価する手法を確立する。【水研センター委託】																														
② 黒ノリの温暖化適応技術開発事業	1,000	黒ノリの高水温耐性品種の遺伝子解析などによって効率的に新品種の開発を行うための技術開発を行う。【水研センター委託】																														
③ スーパーアコヤ貝の品質特性の把握と挿核貝の陸上低塩分養生技術の効率化	18,215	病気に強く、高品質な真珠が生産できるスーパーアコヤ貝や、施術後の養生技術（低塩分飼育など）などの養殖技術を養殖業者に活用しやすいものに改良し普及させる。【農林水産省委託】																														
④ 遺伝子標識を用いた効果判定による放流技術の最適化（クルマエビ・ヨシエビ）	1,796	遺伝情報を用いることでクルマエビとヨシエビの放流効果を明らかにするとともに、放流時期や放流場所の最適化によって放流効果の向上を目指す。【農林水産省委託】																														
⑤ 英虞湾の環境再生へ向けた住民参加型の干潟再生体制の構築	6,500	英虞湾内の沿岸休耕地をモデル実装地として、地域住民と連携した干潟再生活動を実施することで、効果的な干潟再生技術を実証レベルで確立するとともに、住民参加による干潟再生活動の継続を図る。【科学技術振興機構委託】																														
⑥ 漁場生産力の有効活用によるアサリ母貝場造成および新規創出技術開発	1,000	アサリの生産量が多い漁場と少ない漁場においてアサリの飼育実験と環境モニタリングを実施し、アサリの成熟・産卵に適した環境条件を明らかにする。【水研センター委託】																														
⑦ マダイ養殖における飼料コスト削減技術の開発	500	魚類養殖に用いる飼料の主要な原料である魚粉の価格高騰によって経営が厳しくなっているため、魚粉に変わるタンパク原料を探索し、その有効性を調査する。【（財）岡三加藤文化振興財団の助成】																														